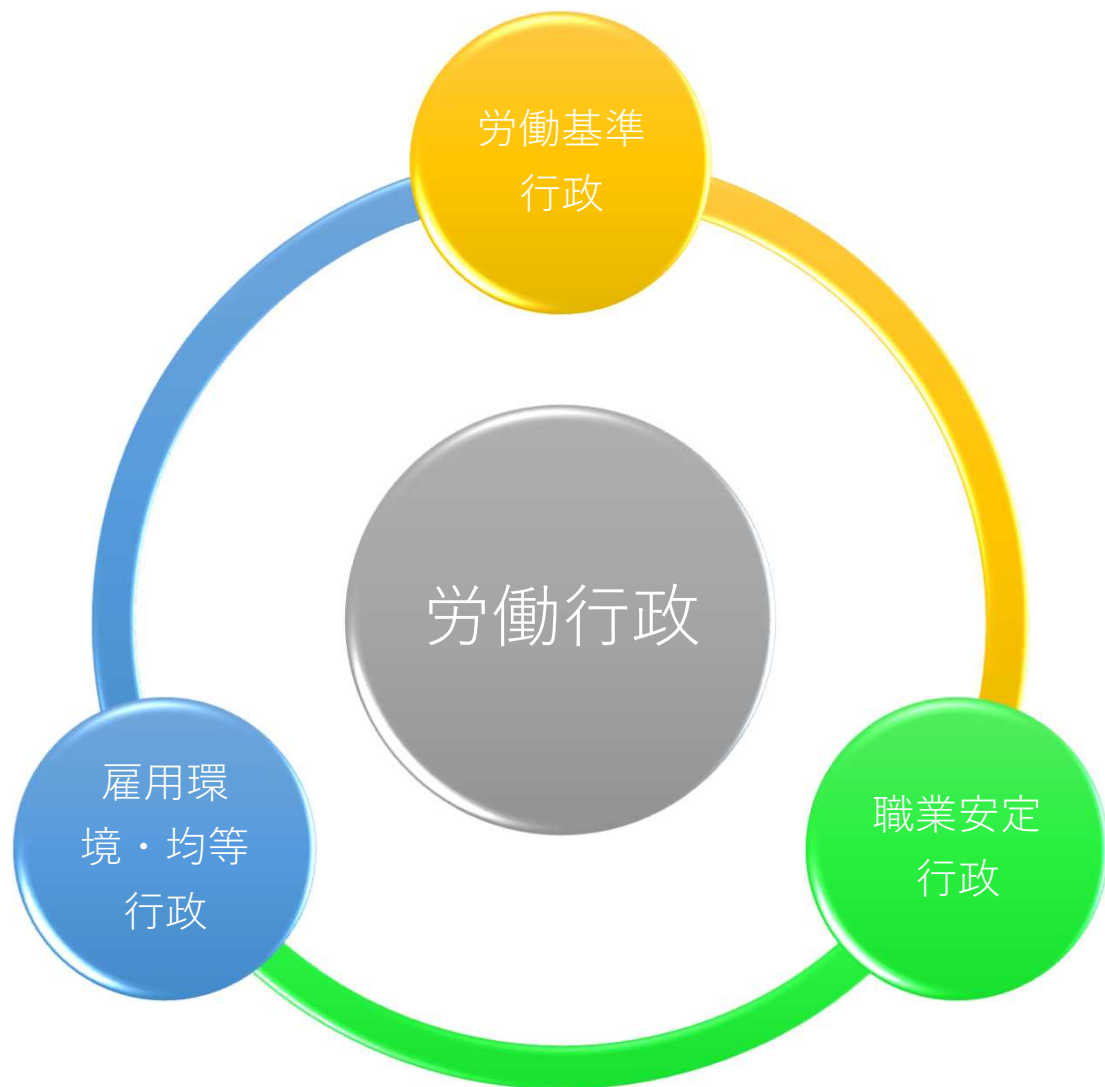




大阪労働局 WEB座談会

労働局の担う行政

労働行政の3つの行政分野



労働基準行政～健康で安心して働ける職場のために～

労働条件の確保・改善、労働時間対策、労働者の安全と健康の確保、迅速で的確な労災補償に取り組んでいます。

職業安定行政～自分らしく「働く」を実現するために～

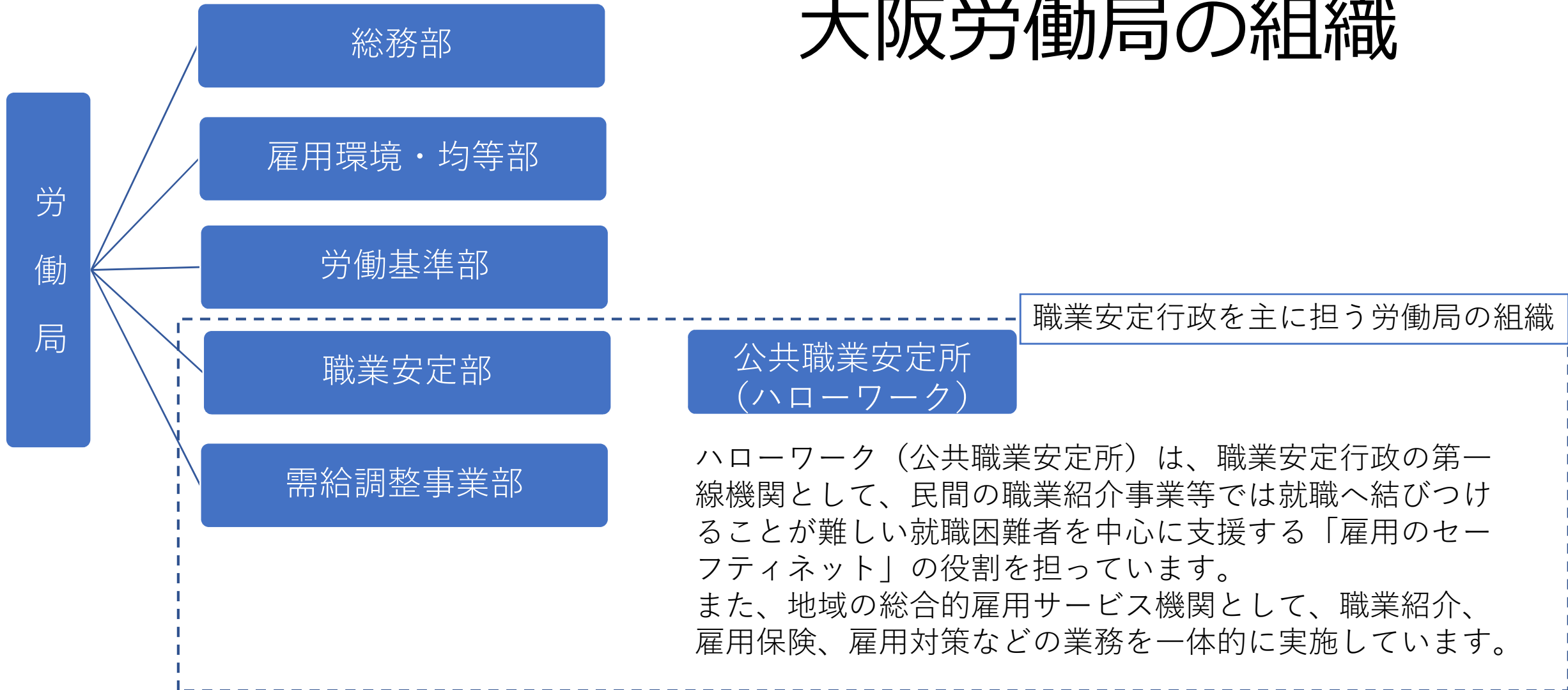
※人材開発行政を含む

雇用の安定、再就職支援の促進、雇用保険制度の運営、労働者のキャリア形成支援などに取り組んでいます。

雇用環境・均等行政～誰もが活躍できる職場環境のために～

女性活躍の推進、ハラスメント対策の実施、同一労働同一賃金の実現、ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組んでいます

大阪労働局の組織



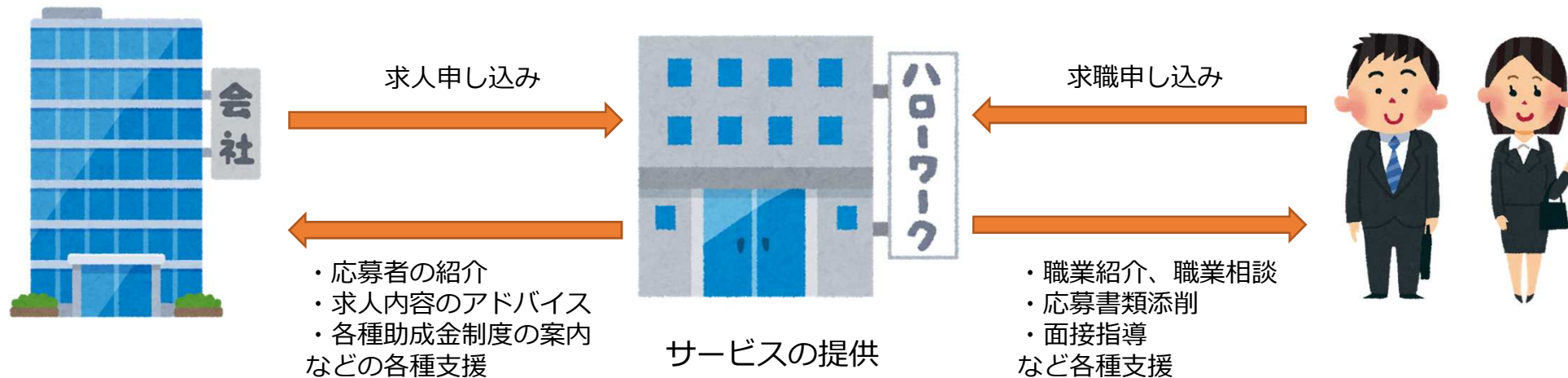
厚生労働事務官（共通）の業務

職業相談・職業紹介業務

仕事を探している人と人材を求める企業とのマッチング支援

ハローワークでは、仕事を探している人（求職者）がその人に合った仕事に就職できるように、また、人材を求めている企業（求人者）が求める適性・能力のある人を採用できるように、職業紹介・職業相談、求人の受理・企業へのアドバイスを行っています。主に窓口における対人業務を中心として、利用者である国民の皆様へ直接サービスを提供する仕事です。

採用後すぐに配属されることはあまりなく、採用後ある程度の年数を経験してから配属されることが多い業務です。

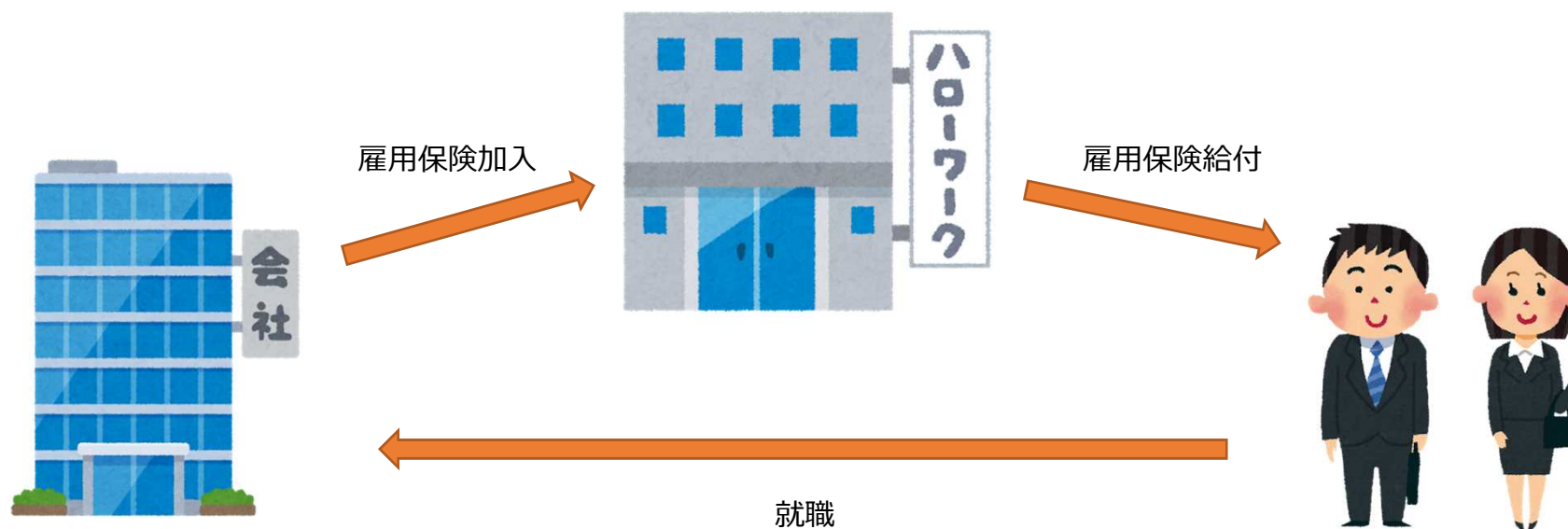


雇用保険関係業務

失業して収入が減少した場合の生活保障のために雇用保険の給付を行い、再就職を支援。

ハローワークでは、失業し収入を失ってしまった方へ、次の仕事を探している間の生活保障として雇用保険の給付事務を担っています。また、雇用保険給付の財源確保のため、人を雇入れた企業の適正な雇用保険加入に関する事務も行っています。

各種法令制度に則って手続きを行う業務で、新規採用後に配属されることの多い業務になります。



庶務関係業務

ハローワークで勤務する職員をサポートする縁の下 力持ち

大阪労働局内のハローワークでは、700人以上の常勤職員と1,000人以上の非常勤職員が勤務しています。これらの職員の勤怠管理やハローワークで行う業務に必要な物品や備品の管理などを行います。

直接利用者にサービスを提供する業務ではありませんが、職業相談や雇用保険給付などの窓口で職員が適切なサービスを提供するために不可欠な業務です。

また、雇用保険関係の業務と同じく新規採用後に配属されることの多い業務になります。

採用とキャリアパス

官庁訪問・採用面接は各労働局ごとに実施します。

採用後は、原則として採用された労働局で概ね4年間勤務し、その後2年間、関西ブロックの他の労働局で勤務します。

そして、概ね7年目に採用された労働局に戻り、以後はその労働局で勤務することになります。

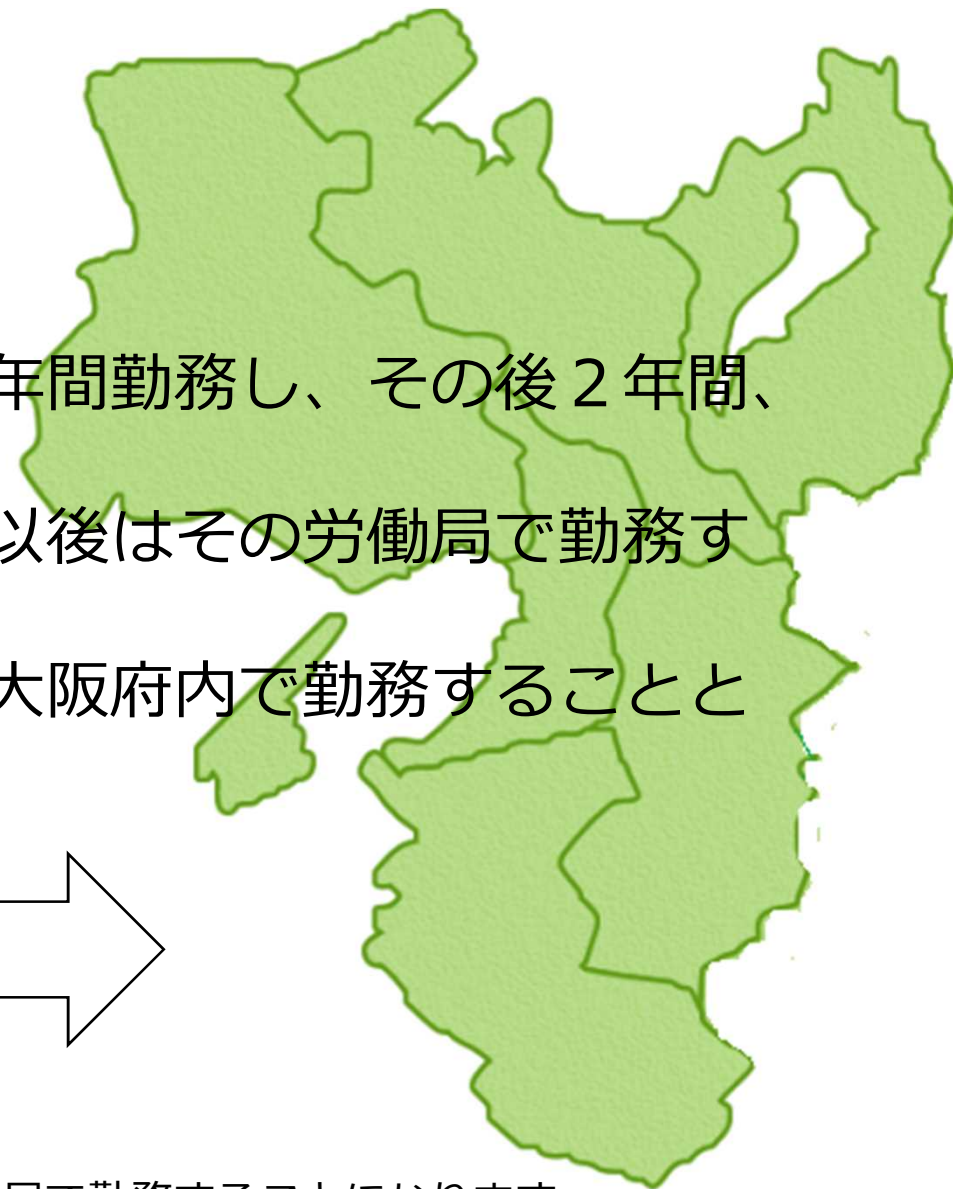
そのため、他の労働局での2年間の勤務を除き、大阪府内で勤務することとなり、生活の拠点を定めやすいのが特徴です。



注. 最初に定着局以外の労働局に勤務する場合があります。

その場合は、採用から2年間定着局以外の労働局に勤務し3年目から定着局で勤務することになります。

(定着するまでの年数が早くなります。)



座談会でのご質問

座談会では、参加者からの質問に人事担当職員と今年4月採用の新規職員がお答えいたしました。その中で多かった質問とその答えについて、紹介します。

1. どのような時にやりがいを感じますか？

(新) ーハローワークでは雇用保険関係の窓口業務を行っていますが、やはり利用者の方と直接接する対人業務ということで、利用者の方から「ありがとう」といったお礼の言葉をかけてもらえた時は、すごくやりがいを感じるときですね。

(人) ー国家公務員で、直接国民と接する業務を行っている官庁はあまり多くないと思います。やはり直接お礼を言ってもらえることは嬉しいです。
それに、職業紹介を通じて就職された方からお礼の手紙をいただくこともあって、自分のやったことが誰かのためになっているのが目に見えて感じられるのはやりがいに繋がりますね。

2. 仕事をする時に気を付けていることはありますか？

(新) ー相手の話をよく聞くようにすることは、とても気を付けています。
やはり、不安な思いを抱えて来られる利用者の方が多いので、相手の立場になって自分の先入観で話さないことが大切だと思います。
あと言い方ひとつで相手への伝わり方が違ってくるので、言葉遣いにも気を遣うようになりました。

※ (新) . . . 新規職員
(人) . . . 人事担当職員

3. 入職前後で感じたギャップはありますか？

(新) ー思っていたよりも仕事が忙しいです。今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のためなので、おそらく特別なことがなければ、忙しい時期とそうではない時期があると思います。でも、それだけこの新型コロナウイルスの影響を受けて困っている人が多いのだと感じました。それ以外には、個人情報の取扱いがとても重要だということがわかり、これも入職前には思っていないことでした。

(人) ー職業安定行政は、その時々々の景気や雇用情勢などの影響をととても強く受ける行政分野ですけど、今年の新型コロナウイルスの影響はまた特別ですね。ですが、こうした状況の中では、労働局・ハローワークに求められる役割はより一層重要になってきますし、それはやりがいにも繋がってくると思います。

4. 仕事をする中で大変だったこと・苦労したことは？

(新) ー雇用保険関係の業務はどうしてもお金が絡んでくる業務なので、制度に則った手続きしかできないことを伝えても、納得されず窓口で大きな声を出されることは時折あります。ただ、そんな時はすぐに上司や先輩職員が間に入ってくれるので、1人で対応するわけではないという安心感もあります。

(人) ー利用者の方にとっても生活が懸かっているなので、つい感情的な態度になってしまうことは仕方がないのかなと思います。それでも、できないことはできないと毅然と伝えることも大切ですし、窓口対応とはいっても1人で全て対応しないといけないことはないのです、安心してほしいと思います。

5. 入職前にやっておいた方がよいことは？

(新) —これをやっておかないといけないということはないと思います。
ただ、入職後に思ったのは業務上でパソコンソフトのワード・エクセルを使用するので、それらの使い方を知っているに越したことはないなと思いました。

(人) —必要なことは入職後の研修などで身につけていきます。もちろん、ワード・エクセルなどのパソコン操作も身につきます。なので、学生さんであれば、学生生活を楽しんでほしいと思います。
あえて言うなら、労働局・ハローワークの業務は経済・雇用情勢といったものに強い影響を受ける業務でもあるので、そういったニュースなどに意識を向けてもらえればいいかなと思います。

6. 労働局で働くのに必要な能力・資質は何ですか？

(新) —まだ入職したばかりなので、偉そうなことは言えないのですが、特別に必要な能力や資質というものはないのではないかと思います。
私自身も特別な何かがあるわけではありません。ただ、対人業務なので人と話すことが好きな人は向いている仕事かなと思います。

(人) —働いていくうえで必要な能力は、業務や研修を通じて身につけていきます。
なので、言うように特別な何かが必要ということはありません。対人業務を行うのがどうしてもつらいという方でなければ、人と話すことが得意でなくても十分に務まると思います。
あとは、公務員として誰かの役に立ちたいという気持ちを持っていれば大丈夫です。

7. 研修はどのようなものがありますか？

(人) ー大阪労働局では、入職後1週間程度の研修を通じて、労働局職員として必要な知識などを学んでいただきます。その後は、入職1年目には埼玉県にある労働大学校で基礎研修を受講するほか、職業相談業務に配属された時や役職に就いた時など、行政経歴に応じた研修を同じく労働大学校で受講してもらいます。その他、入職後2年目、3年目などの関西ブロック労働局の若手職員を集めた合宿研修も行っているほか、キャリアカウンセリング研修など、労働局職員として必要なスキル・知識を身に付けて頂くための研修も独自に行っています。

※令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、WEB開催になる等一部変更しているものがあります。

8. 他の労働局と比較した大阪労働局の特徴は？

(人) ー関西ブロックの他の労働局と比較して、労働局の規模の大きさは最大の特徴ではないかと思います。大規模なハローワークも多く、利用者も多い半面、職員数や部門が細分化され、業務に関する深い知識を身につけることができます。また、他の労働局と共催してイベントを実施するときには、大阪労働局が中心となってイベントの企画・運営を行うことが多いほか、モデル事業を実施する場合には東京労働局とともに実施主体となるため、より幅広い業務を行っています。その分若いうちから、そういった業務に携われるチャンスが多いと思います。